

「急性ウイルス感染症に続発した小児胃十二指腸潰瘍の検討」へのご協力をお願い

この度 神奈川県立こども医療センター 外科では「胃十二指腸潰瘍の診断を受けた患者様」を対象に「検査、治療と、その後の経過」についての観察研究を当センターの総長の許可の元で行っております。この研究は将来同様の診断をされた患者様の方針の決定に役に立つと考えております。

研究課題名	急性ウイルス感染症に続発した小児胃十二指腸潰瘍の検討
研究の対象	2018年4月より2020年3月までに当院で急性ウイルス感染症に続発した胃十二指腸潰瘍の治療を受けた患者さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	<ul style="list-style-type: none"> ・目的：頻度は少ないですが、急性胃腸炎やインフルエンザ感染症に引き続いて胃十二指腸潰瘍を発症し、緊急内視鏡検査治療を要することがあります。そのような患者さんの特徴やリスクを調べることを目的としています。 ・方法：該当する患者さんについて、過去の診療記録を振り返り、下記の情報を匿名化して抽出し、分析を行います。患者さんにご負担をおかけすることはありません。
研究期間	2022年8月から2024年3月
研究に使用する試料・情報の種類	診療記録より、治療時の年齢、性別、病歴、画像診断、血液検査、手術記録など
研究実施機関（研究組織）	神奈川県立こども医療センター
外部への試料・情報の提供とその方法	本研究では院内のみの使用で、外部に試料・情報の提供はありません。
情報の管理について責任を有する者・所属	新開 真人・外科

本研究はヘルシンキ宣言（2013年10月WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（2021年6月30日施行）に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用するため、個人情報外部に漏れることはありませんし、プライバシーには十分に配慮して行います。

また、研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。

開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんでご自身やお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからお子さんの情報を削除いたします。その場合も

診療において不利益を被ることはございません。尚、研究結果の公表後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 外科
新開 真人

地方独立行政法人 神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局

Tel : 045-711-2351 内線 2212